### おしらせ 11月号

令和7年11月4日発行





# 社会保険労務士法人 作 道 事 務 所 労働保険事務組合 栃木労務管理協会

TEL:0285-23-6172 FAX:0285-23-7279

ホームページ https://www.sabg.jp

メールアドレス slm\_info@sabg.co.jp

# 令和7年分 年末調整申告書の変更点

令和7年度税制改正により、次のとおり所得税の「基礎控除」や「給与所得控除」 に関する見直し、「特定親族特別控除」の創設が行われました。

## (1) 基礎控除の見直し

Λ=1= <b>Γ</b> / <b>P</b> Λ <b>rT</b>			基礎控除額		
合計所得金額   収入が給与だけの場合の収入金額)			改正後		改正前
(4X人が和子だりの場合の4X人並銀)			令和7・8年分	令和9年分以後	LXIERI
	132 万円以下	(200万 3,999 円以下)	95	万円	
132 万円超	336 万円以下	(200万 3,999 円超 475 万 1,999 円以下)	88 万円		
336 万円超	489 万円以下	(475万1,999円超 665万5,556円以下)	68 万円	58 万円	48 万円
489 万円超	655 万円以下	(665万 5,556 円超 850 万円以下)	63 万円	. 20 /11	
655 万円超	2,350 万円以下	(850万円超 2,545万円以下)	58 万円		

基礎控除については、48万円から最大95万円まで段階的に引き上げられました。

### (2) 給与所得控除の見直し

給与所得控除について、55万円の最低保証額が65万円に引き上げられました。 (注)給与の収入金額 190万円の場合の給与所控除額に改正はありません。

## (3) 特定親族特別控除の創設

所得者が特定親族を有する場合には、その所得者の総所得金額等から、その特定親族1人につき、その特定親族の合計所得金額に応じて次の金額を控除する特定親族特別控除が創設されました。

# (4) 扶養親族等の所得要件の改正

(1)の基礎控除の改正に伴い、次の表のとおり、扶養控除等の対象となる<mark>扶養親族等の所得要件</mark>が改正されました。

扶養親族等の区分	所得要件 (収入が給与だけの場合の収入金額)					
	改正後	改正前				
扶養親族 同一生計配偶者 ひとり親の生計を一にする子	58 万円以下 (123 万円以下)	48 万円以下 (103 万円以下)				
配偶者特別控除の対象となる配偶者	58 万円超 133 万円以下 (123 万円超 201 万 5,999 円以下)	48万円超 133万円以下 (103万円超 201万5,999円以下)				
勤労学生	85 万円以下 (150 万円以下)	75 万円以下 (130 万円以下)				

令和7年度分の年末調整に関する改正点につきましては、詳しくは顧問税理士先生または 当事務所までお問い合わせください。

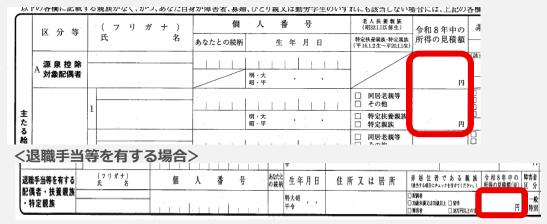
# 当事務所で年末調整を実施する事業所様は、以下の点に留意してください。

令和7年度税制改正により、被扶養者の収入の把握が重要になりました。12 月までの収入見込みを給与明細、年金決定通知はがき等を参照の上ご記入ください。

#### ●令和8年分

「給与所得者の扶養控除等申告書」

各扶養者の収入額(所得ではなく)を必ず記載してください。特に特定親族(H16.1.2 ~H20.1.1 生)に当たる扶養者がいる方は確認をお願いします。



#### ●令和7年分

「給与所得者の基・配・特・所 申告書」

本人・配偶者だけでなく、特定親族 特別控除申告欄が追加されました。 特定親族に当たる扶養者がいる方は ご記入ください。





### 【年末調整の機会に、健康保険扶養の見直しを!】

年間収入の確認ができるこの時期に、健康保険扶養の年間収入要件を確認しましょう! 令和7年度税制改正に伴い、10月1日以降、19歳以上23歳未満の収入基準が変更されました。

現行の収入基準	10月1日以降の収入基準	
年収 130 万円未満	19 歳以上 23 歳未満は年収 150 万円未満	
※60 歳以上又は障害者は 180 万円未満	(他は従前と変更なし)	

## 【給与や賞与の明細書を紙から WEB 配信に切り替えてみませんか?】

スマートフォンやパソコン等からいつでもどこでも確認ができます。従業員さんが明細を PDF 保存することが可能となり、会社様の事務負担も少なくなります。ぜひご検討ください!